

# ふしみさらダボール子育て情報



「同じ遊びの繰り返し」

令和5年6月28日号

板橋富士見幼稚園



## 何を学んでいるのでしょうか

幼児期では、よく同じ遊びを繰り返します。何度も繰り返し、それを見て笑って、また繰り返します。大人から見れば単純なことほど、繰り返すたびに笑い、楽しむ…そのような姿を見たことはありますか。

幼児期はこのように遊びを繰り返す中で、実は学習しながら大切な知恵を身に付けているのです。ただ繰り返しているわけではありません。同じ遊びに見えていても、力を加減したり調整したりしながら少しずつ変化を加えていくことで知恵を獲得していくのです。

例えば1歳半頃にボールを転がしている姿を見ていると、左や右にカーブを繰り返しながら、次第に真ん中近くにボールを転がすことができるようになっていきます。このとき、転がすと同時に笑うという行動が起こってきます。これは心の満足感が笑顔となり表現されている姿です。2歳を過ぎる頃には、この繰り返す遊びがその子の技術技能の習得に繋がり、他の遊びにも繋がっていきます。

この技術技能は、脳の発達を刺激し、頭の中に記憶として閉じ込め知恵となります。そしてしばらくした後の遊びに、その知恵を活かして遊びが展開され再現されてきます。

このような繰り返す遊びの機会を、家庭や園で保証してあげることで、ふとした時にその知恵が出現してきます。

物事を繰り返しながら、脳の中にそのスキルを学習し、必要な時に突然思い出したように、その行為が現われてくるのです。幼児期は、子どものしたいことやして欲しいことに、寄り添い、十分に経験出来る時間や場を与えてあげることが大切なのです。是非、少しの時間、子どもに寄り添ってあげて欲しいと思います。



【杏の収穫祭で美味しいジャムができました。パンにつけて味見しました。】